

上海学生派遣 2008

24日（月）

正午に高専ロータリー前を出発。日本出国、中国入国後、上海の宿泊先ホテルに到着したのは深夜0時近くになりました。

25日（火）

初日は上海の市内観光。

豫園、外灘、新天地などを見学。貸し切りバスを使用し、1日で上海の must なところを見学できました。



豫園にて

このような歴史的な遺産、近代的な林立するビル、古い住宅等が混在する巨大な街に皆圧倒されていました。

26日（水）

上海工程技術大学（以下 SUES と略記）訪問・研修。

午前中は熱烈な歓迎式典。SUES 学長の歓迎の辞と、群馬高専訪中団団長の感謝の言葉で始まり、記念品の贈呈が行われました。SUES のシンボルともなっている図書館のホールにての式典ではその場に居合わせた教員・学生が珍しそうに日中交流を見ていました。式典後、記念写真撮影後は学内見学。日本の大学ではありえないような広大でモダンなキャンパスを見学しました。SUES 学食での昼食後、場所を変えて双方の学生同士の発表会。群馬は5班に別れ、それぞれ10分程度ずつあるテーマについて英語でプレゼンを行いました。先方の突然の予定変更が色々あったにもかかわらず、群馬高専の学生は適切に英語で発表を行うことができました。この発表会の後は、バスケットボールの国際友好交流試合を行いました。

た。SUES 側は体育授業中の普通の学生です。対するは日本代表群馬高専選抜チーム。試合場となった SUES の体育館は、国際試合も行える立派な会場です。審判員も国際審判を務める資格のある SUES の教官。国際ルールに従って印象深い友好試合を楽しむことができました。



歓迎式典



図書館前にて



発表会



バスケット試合

27日（木）

上海市科学技術協会、上海市业余科技学院訪問・研修。

この両機関は、3回目になる今回の上海学生派遣で初めて訪れました。午前中科学技術協会の近代的ビルの一室で歓迎式典が挙行政され、各機関代表者の歓迎・感謝の言葉と記念品の贈呈が執り行われました。その後、旧く立派なフランス様式で建てられた協会・学院の見学と、双方学生の研修会が1時間ほど開かれ、日中双方から活発な質問が飛んでいました。昼食後は学院の学生と共に世界でも有数の製鉄所「宝山鋼鉄」を見学。熱圧延工場の圧倒的スケールにみな驚いており、高専における講義内容（特にM科）が実際にどのように応用されているのかを知る良い機会でもありました。ただ、、、内部の写真は撮ることは禁じられており、ここに掲載することができないのは残念。

は残念。



歓迎式典



協会前にて



宝山製鋼前

小休止を取った後、夜は SUES と学院の学生約 30 名を宿泊先ホテルに招いての三者での交流会。最初は恥ずかしがってなかなか喋らなかった双方の学生たちも、会が終わるころには皆打ち解けあい、笑顔に変わっていました。中国側の学生も、会を終了するということを知らせても、名残惜しそうで、なかなかその場を去れないようでした。



三者交流会

28日（金）

今日は終日フリータイム。

午後1時半には SUES の学生十余名が群馬の学生と合流しました。その後各班ごとに別れて上海タワーに登ったり、新天地を見学したりなど、上海市内自由行動を通して、学生交流を更に深めることができました。ホテルに帰着した日中双方の学生も抱き合っ別れを惜しんでいました。

29日（土）

朝9時に宿泊先ホテルを出発し、日本への帰国の途に。

空港までは、これも恒例になってきた上海リニアモーターカーに乗り、今回もみなそのスピード（431 km/h）に圧倒されていたようです。

群馬高専へ無事帰着できたのは夜9時ごろとなりました。

今回も学生交流を通じて実り多い成果を得られました。これも受け入れ中国側の心温まる配慮のおかげです。謝謝中国&謝謝上海の関係された方々！